

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			必要な部屋の他に、余室も適宜利用している。
	②	職員配置数は適切であるか	○			定数の中で、実質を重視し、有能な職員を配し、かつ、利用者との信頼を得られる関係作りに努めている。
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全室フローリングで段差のない作りである。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			全員迎えに来た時や送迎時に、日々の状況を詳しく伝達している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		日々、職員間で話し合っ、問題点を改善している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		資質向上に必要な研修に参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の行動傾向の情報を職員間で共有し、最良の方策を模索している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			遊戯の他に、英語、パソコン等、基礎学力の向上に全身全霊を傾け努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			活動する一日の時間の長さに応じて、個々の特性に配慮しつつ、活動プログラムを決めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の発達状況を見極め、個別、集団活動を行っている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の職員会議で、業務内容を明示し、各々の職責を果たせるようにしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、一日の成果を報告しあい、翌日の業務につなげている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			異変については、より詳細に記録するようにしている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			進度に合わせて対応している。	
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		得意な事は更に向上させている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への送迎時に先生との情報交換や、保護者からの連絡票に基づき予定確認を行い、本人の事故、急病に迅速に対応している。	
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			医療ケアの対象者はいないが、保護者からの情報に基づき、てんかん等の急病に備えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			以前の情報提供は求めているが、必要に応じて、学校や関係機関から情報を得られるようにしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			求めがあれば、適正な情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				専門職員の来訪がある度に、指導を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今はないが、機会あれば、いつでも対応できるようにしている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				案内には欠かさず応じている。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				帰宅のお迎え時に、日々の状況を伝え合い、保護者との意思の疎通をはかっている。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者の求めに応じて対応している。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			規程等の必要事項の説明を丁寧に行っている。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば、アドバイスできることを積極的に伝えている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はないが、お迎え時に必ず直に保護者と接し得るので、緊密な関係を築いている。
	㉔	子どもや保育者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等の問題があれば、すぐにも対応し、改善していく体制である。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報に代わるものとして、利用者自らが意思を発信できるよう指導している。また必要に応じて、保護者への連絡を行っている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			情報漏洩無きよう努め、特に OA 機器の扱いには注意している。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の利用者の情報を職員間で共有し、適切な対応がなせるように努める。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新開地で相互の交流は乏しいが、隣組の付き合いから始めて、交流を深めている。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員間では研修し、保護者にはポスター等の掲示物で伝えている。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			都合が合えば消防署を招いた訓練をしている。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			人権尊重の精神が実際に活かされるよう、個々の行動を注視しながら、過ごしている。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	自傷他害や、その恐れが生じた場合、医療機関等の外部の助けを求めるが、それまでの間、別室にて職員が見守る事を保護者に伝えてある。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	通所開始時にアレルギーを確認し、個別対応している。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			不測の事態への対応策を研修し、生じた時には記録するようにしている。

